



Japan Semiconductor

【本文:10頁】

株式会社ジャパンセミコンダクター 岩手事業所 会社概要と環境保全活動の取組み



施設管理部 環境保全担当

2025年 6月16日

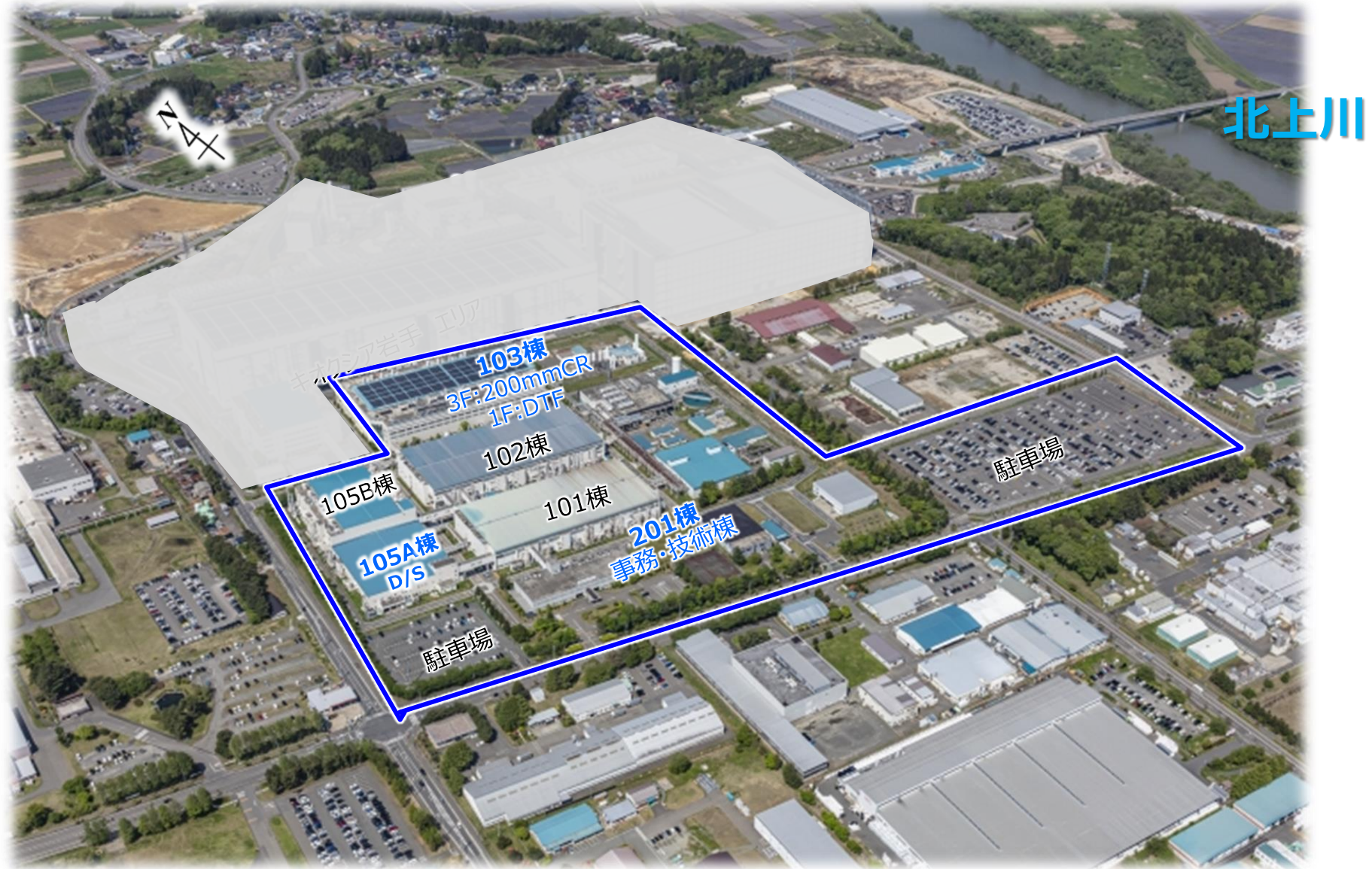
会社概要

会社名 Company name	株式会社ジャパンセミコンダクター Japan Semiconductor Corporation
所在地 (事業所・分室)	◆本社・岩手事業所 岩手県北上市北工業団地 ◆大分事業所 大分県大分市大字松岡 ◆川崎分室 神奈川県川崎市川崎区駅前本町
設 立	2016年4月1日
資本金	150億円
代表者	取締役社長 川越 洋規
事業内容	半導体製造（前工程・プローブテスト）
従業員数	2,100名



ジャパンセミコンダクター 本社・岩手事業所

敷地面積
170,000m²



ジャパンセミコンダクター沿革

 岩手事業所		 大分事業所
'73 岩手東芝エレクトロニクス操業開始 (パワートランジスタ後工程生産)	1970年	'70 東芝大分工場創業開始(汎用ロジック生産) '73 C2MOSロジック、4KCRAM生産開始
'84 125mm wafer 生産開始 '89 150mm wafer 生産開始	1980年代	'82 CPU 生産開始 '84 256K DRAM 生産開始 '85 1M DRAM 生産開始
'94 NAND型フラッシュメモリ立上げ (東芝初量産 16 M NAND)	1990年代	'95 200mm wafer 生産開始 '97 フラッシュメモリ、システムLSI 生産開始
'01 Foundryビジネス開始 '04 200mm wafer 生産開始 '08 TSVライン量産投入 & CSCM初倉入	2000年代	'04 300mm 新棟竣工 '05 65nmプロセス製品 世界初出荷 '09 北九州工場と統合
'10 CMOSリニアセンサ初倉入れ '12 BiCD 製品初倉入れ 汎用 2 Mセンサー初倉入れ	2010年代	'11 アナログ製品 生産開始 '14 画像認識LSI 生産開始 '15 300mm SCK 売却
2016年4月 ジャパンセミコンダクター設立		
'20 高速リニアセンサ生産開始 '21 描画装置向MEMSチップ量産開始	2016年 ~現在	'16 Foundryビジネス開始 '19 パワー半導体 生産開始

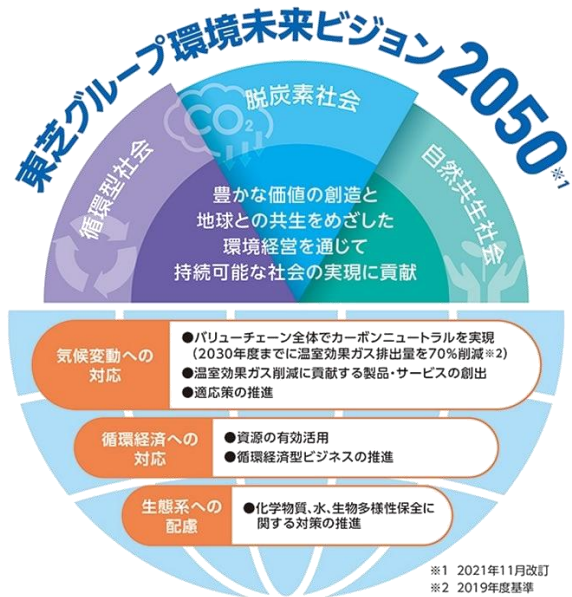
リニアセンサ2002年より22年連続世界シェアNo1

車載製品量産で培った品質力



環境への取り組み

東芝グループ環境未来ビジョン2050をもとに当社の環境方針を策定し各種活動を展開



※1 2021年11月改訂
※2 2019年度基準

東芝グループ環境未来ビジョン2050
出展:東芝デバイス&ストレージ社HP
URL:<https://toshiba.semicon-storage.com/jp>

ジャパンセミコンダクター 環境方針

－ 理 念 －

東芝グループの経営理念である「人と、地球の、明日のために。」に基づき、脱炭素社会、循環型社会、自然共生社会を目指した環境経営により、持続可能な社会の実現に貢献し、新しい未来を始動させます。

－ 方 針 －

当社は、2箇所の製造拠点をもち、岩手事業所は奥羽、北上の両山系と北上川、大分事業所は高尾山、大野川といった美しい自然に恵まれた土地に位置しており、この豊かな環境に配慮することが私たちの使命であると考えます。

両事業所が地域に根ざし、地元の皆様との協調・連帯を図ると共に、SDGs®を念頭に置き、調達から製造・廃棄に至る全ての事業プロセスにおいて、ライフサイクルの視点に立って環境を意識した企業経営を実践し、半導体製品の提供を通じて社会に貢献することを目指します。

※ SDGs: Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)

1. 倫理観と継続性

- 1) 当社の環境側面に適用可能な法的及びその他の要求事項を遵守し、コンプライアンスの徹底を図ります。
- 2) 環境活動レベル及び環境パフォーマンスの向上を図るため、監査と活動のレビューにより環境マネジメントシステムの継続的な改善を行い、環境経営の効果的な運用を推進します。

2. 実 行

全ての事業プロセスにおける環境側面について、生物多様性を含む環境への影響を評価し、気候変動並びに、循環経済への対応、生態系への配慮など環境負荷の低減に関する環境目標を設定し、全員で汚染の予防に努め積極的な環境施策を展開します。



2025年4月1日
株式会社ジャパンセミコンダクター

取締役社長

川越 洋規

この環境方針を社内外に開示するとともに、本組織で働く全ての人々に方針を周知し、方針に沿った企業活動を推進します。

Japan Semiconductor

【理 念】

東芝グループの経営理念である「人と、地球の、明日のために。」に基づき、脱炭素社会、循環型社会、自然共生社会を目指した環境経営により、持続可能な社会の実現に貢献し、新しい未来を始動させます。

【実 行】

- 1) 気候変動への対応のため、カーボンニュートラルに向けた取り組みにより温室効果ガスの排出を抑制します。
- 2) 循環経済への対応のため、生産性の向上、廃棄物の総排出量削減に向けた活動により資源の有効活用を推進します。
- 3) 生態系への配慮のため、使用する化学物質の適正な管理と削減、水資源並びに生物多様性の保全の取り組みを行います。
- 4) 法令遵守のため、常に最新の情報を入手し管理の強化を図ります。
- 5) ステークホルダーとの相互理解促進のため、コミュニケーションや地域・社会との連携に取り組みます。
- 6) 環境に配慮した企業活動の実践のため、自ら進んで行動する従業員を育成します。

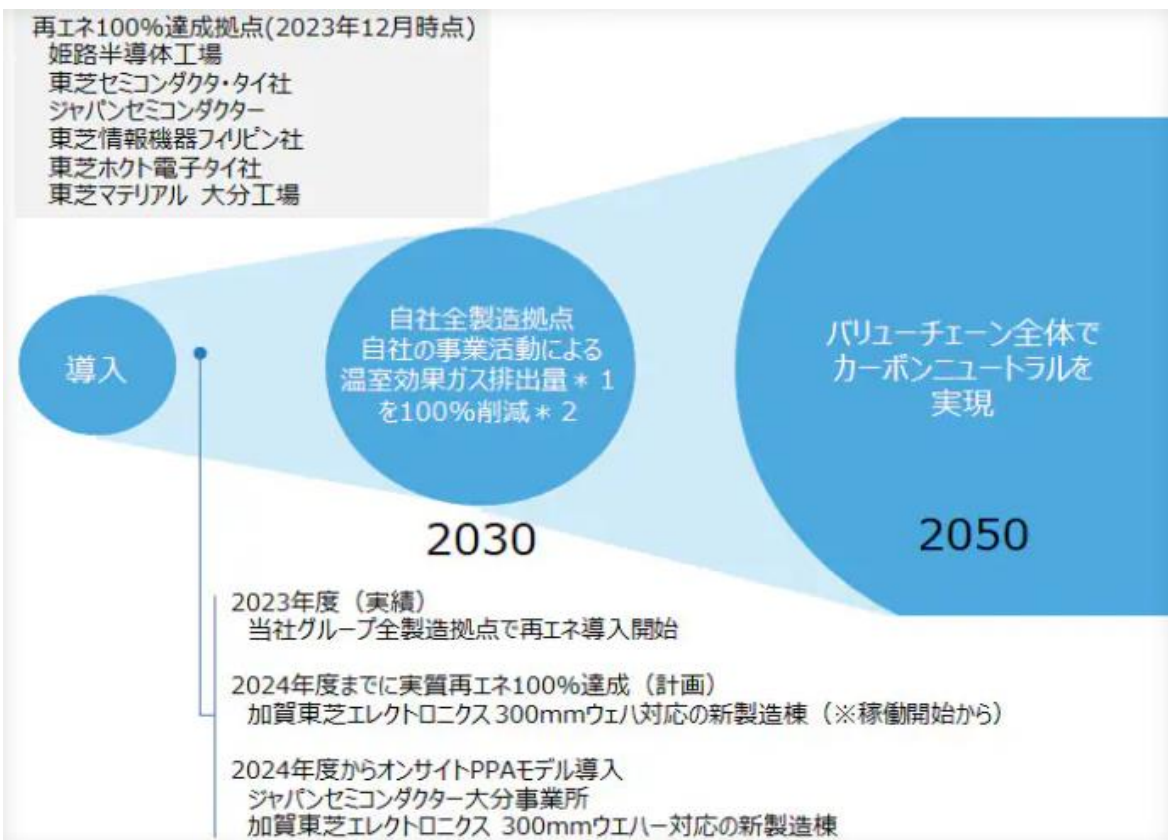


CNの達成に向けた取り組み

Scope2:電力の使用によるGHG排出
PPA :「Power Purchase Agreement (電力販売契約) モデル」の略。
電力需要家が発電事業者から直接再生電力を購入する契約形態。

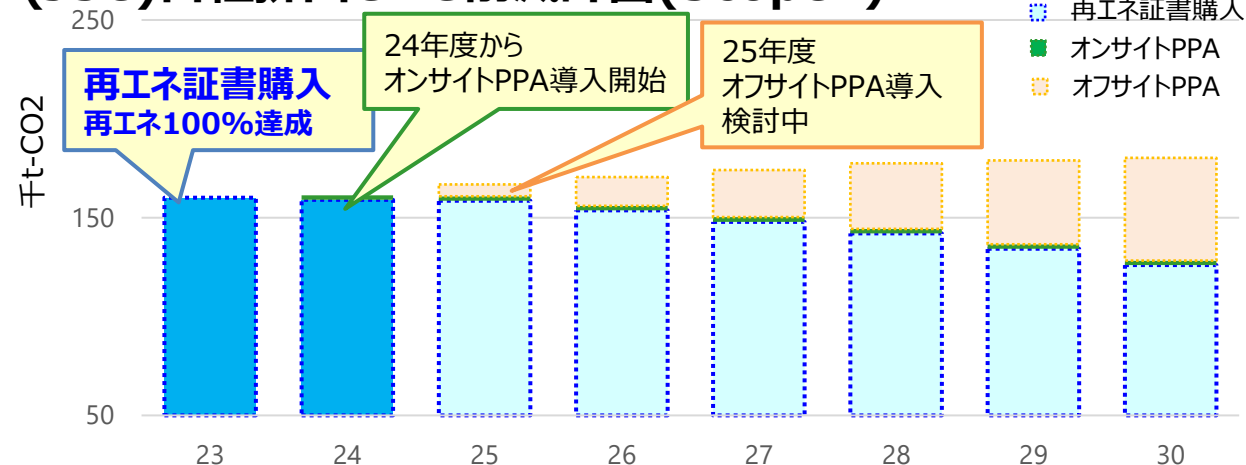
カーボンニュートラルビジョン達成のため23年度より再エネ証書購入し再エネ率100%継続中
建屋屋根にソーラーパネルを設置しオンサイトPPAによる受電を5/1より発電開始

東芝デバイス&ストレージ社カーボンニュートラルビジョン



当社グループのカーボンニュートラルの取り組み
出展:東芝デバイス&ストレージ社HP
URL:<https://toshiba.semicon-storage.com/jp>

●(JSC)自社排出GHG削減計画(Scope2)



●オンサイトPPA (25/5月運用開始)



(岩手)オンサイトPPA概要

発電能力	936kW
年間電力量見込み	1,040MWh (カバー率0.6%)
パネル枚数	1,560枚
パネル設置面積	5,200㎡



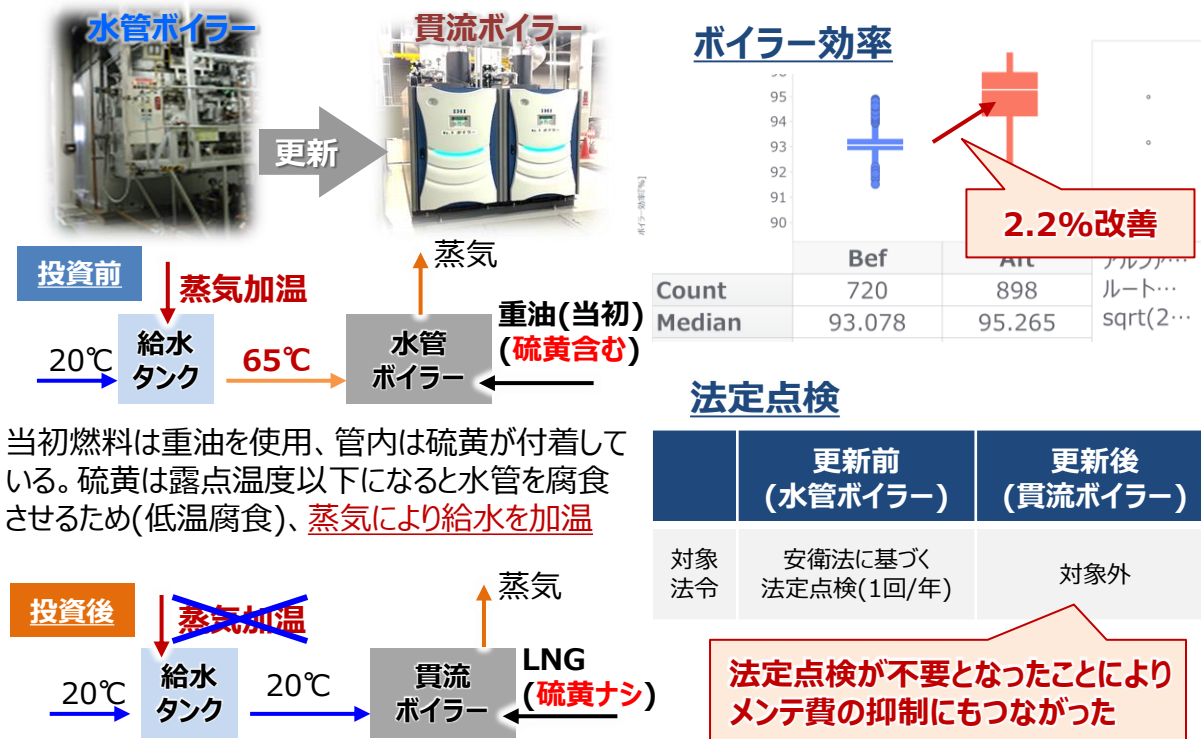
省エネの取り組み

寒冷地に所在する工場として、熱エネルギーロスの改善や有効利用の取り組みを積極的に展開

①301棟ボイラー更新による省エネ/修理費削減

運開から39年が経過した「水管ボイラー」の老朽化と故障リスクを軽減するため、「貫流ボイラー」へ更新(24/12月～)

【効果】効率向上による省エネ：**▲43.3t-CO₂/年**



②蒸気配管の放熱ロス抑制による省エネ

蒸気配管からの放熱に着目し、蒸気ヘッダーへの**低熱伝導率の保温材施工**と**未使用系統の配管切り離し**を実施

【効果】放熱ロス削減による省エネ：**▲6.2t-CO₂/年**



廃棄物排出量抑制の取り組み

廃棄物量排出量抑制のほか資源循環を意識した取り組みを展開

①溶剤ボトル交換時の運用変更による廃液削減

従来目視で行っていた溶剤の交換残量チェックを重量管理とし、交換基準を明確にすることで廃液の削減を行った

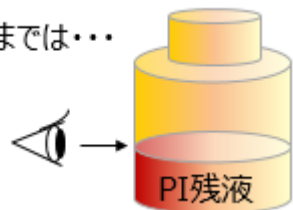
【効果】廃液削減量： **▲19kg/年**

ボトル交換判断基準

※残量確認頻度：シフト毎、残量少量時はLot毎

・現状：Ope目視による残量チェック⇒基準ボトルと残量比較

今までは...



・改善策：重量計設置による交換基準明確化



交換基準値：0.24kgへ設定

・廃液の削減量
19(kg/年) 削減

②UP CYCLEの取組み

コロナ禍の飛沫防止対策として使用していたアクリル板を利用し、コースターやフォトスタンドを作成し、廃棄物の削減を行った

【効果】廃棄物削減量： **▲350kg**



飛沫対策で使用していた
アクリルパーテーション



県内企業へ依頼し作成した
フォトスタンド・コースター



市内小学校へ寄贈



川崎分室受付

コースター：来客者への飲料提供時に使用しPR
フォトスタンド：半導体出前授業に参加した生徒の集合写真を納め
寄贈したほか、川崎分室の受付に設置し来客者へPR

生物多様性保全活動

構内緑地帯を活用した希少植物等の保護活動や北上市主催イベントへの参加による植物の育成を通じ活動を展開

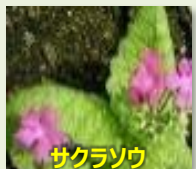
生物多様性保全活動

構内緑地帯に希少植物保護・増植、国蝶の呼び込みを目的とした花壇を設置し保全活動を行っている



オオムラサキ

希少植物花壇全景
(22/7月～現在の場所へ移転)



サクラソウ



ニッコウキスゲ



クリンソウ



オカトラノオ

花壇ではサクラソウ等の希少植物の保護や、国蝶であるオオムラサキの呼び込みを目的に幼虫の好むエゾエノキを植樹し保全活動を行っている

花咲く道しるべプロジェクト

北上市花いっぱい運動に参加し、マリーゴールド、サルビア、アゲラタムを植栽し水遣りや、除草などの活動を行っている
花いっぱいコンクールでは3年連続で『優秀賞』を受賞



しらゆり植栽地整備

北上市主催の北上市の花である「しらゆり」の植栽地の整備活動に参加し、地域とのコミュニケーションを図っている



下草狩り



支柱交換



環境CSR活動

社会貢献を意識した環境活動を行い、従業員への意識啓発を図っている

ボランティア清掃

職場単位での活動や地域活動に参加し、会社周辺や市街地等の清掃や除草活動を行い、延べ680名が参加した



アルミ缶・不要ケーブル回収

『e-coと募金』と称し、家庭から持ち寄っていただいたアルミ缶や不要ケーブルを回収・売却し、収益金を歳末助け合い募金へ寄付



構内に回収場所を設置



アルミ缶



不要ケーブル



労働組合を通じ
歳末助け合い募金
へ寄付

ペットボトルキャップ回収

ペットボトルキャップを回収し世界のこどもにワクチンを届ける活動に参加



回収したペットボトルキャップ



特定NPO法人
世界の子供にワクチンを!日本委員会



社外コミュニケーション

近隣小学校での半導体に関する出前授業の開催や岩手県主催イベントへの協賛等を通じ、社外とのコミュニケーションを図っている

半導体出前授業開催

半導体の進化が暮らしを豊かにし、環境負荷低減にもつながっていることを実験などを通じ学習する授業を開催 本授業は社内で若手社員を中心とした組織を立ち上げ開催した
参加した生徒からは、半導体が進化していることが分かった、信号機キットの制作が楽しかったなどの感想が寄せられ、教える側である若手社員の半導体に対する意識も高めることができた



信号機キット組立て



実験キットで電気を操る体験



ウェーハ拡大映像に歓声があがる



洗濯機デモンストレーションに集まる生徒



インタビューを受ける生徒



JoySCメンバー

2050いわて星空満天プロジェクト協賛

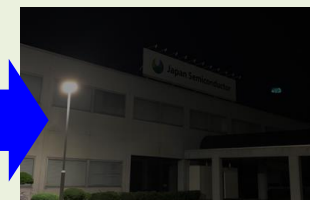
いわて星空満天プロジェクトPRポスター



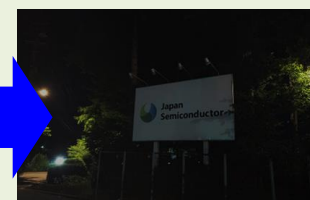
岩手県地球温暖化防止活動推進センター主催の本プロジェクトに協賛
本プロジェクトを推進するため『新月』に併せ、看板消灯を行い活動をPRしている



201棟看板



P5駐車場看板





Japan Semiconductor

Thank you for your attention!

Danke für Ihre Aufmerksamkeit!

Je vous remercie de votre attention!

경청해주셔서 감사합니다

谢谢！

ありがとうございました